



田植えを体験

石部棚田にて、松崎小学校5年生69人が
田植え作業を体験しました。(5/18)

「子ども手当」が始まりました

「子ども手当」は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援する制度です。中学校修了までの子どもを対象に、1人につき月額13,000円を支給する制度です。

○子ども手当とは？

支給対象

子ども手当の支給資格者は、子どもを監護し、かつ、生計を同一にする父または母などです。父母に養育されていない子どもについては、子どもを監護し、かつ、生計を維持する方となります。

支給額

1人月額13,000円

支給日

6月、10月、2月（年3回）のそれぞれ14日に前月分までの手当をお支払いします。

（支払日が休日の場合は、金

融機関の前営業日が支払い日となります。）

支給方法

届出のあった受給者名義の口座へ振り込みます。

配偶者や子どもなど受給者以外の方の口座に振り込むことはできません。

所得制限

児童手当は、親などの所得に制限がありました。子ども手当には、所得制限はありません。

○子ども手当を受けるには？

手続きが必要な方

①本年3月まで、児童手当を受給されていた方で、中学2年生または3年生の子どもの養育している方

②所得制限などにより、児童手当を受給していなかった方

③4月以降に転入された方

④4月以降に子どもが生まれ

た方

①・②に該当する方には、4月中旬に申請書を送付しました。本年4月分からの子ども手当を受給するためには、平成22年9月30日までに申請手続きをする必要があります。申請書等をまだ提出されていない方は、お早めに提出をお願いします。

4月以降に子どもが生まれ、たときや転入された場合は、原則として請求のあった翌月分から手当が支給されます。

※公務員の方は、お勤め先での手続きとなりますので、お勤め先へ確認してください。

手続きが不要な方

本年3月まで、児童手当を受給されていた方で、中学1年生以下の子どものみを養育している方は、手続きの必要はありません。

○現況届の提出について

現況届は、毎年6月1日における状況を記載し、子ども手当を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。

現況届の提出がない場合は、6月分以降の手当が受けられなくなりします。

現況届の提出が必要な方には、6月上旬に現況届等を送付します。

○届出が必要な場合

①受給者が町外に転出したとき（単身赴任を含みます。）

②受給者または子どもが死亡したとき

③受給者が離婚または再婚したとき

④受給者が公務員になったとき

⑤出生等により子どもの数が増加したとき

⑥養育している子どもの数が変わったとき

⑦子どもと別居したとき

⑧住所や氏名が変更となったとき など

手続きが遅れた場合には、手当を受けられない月が生じることや、支払済みの手当を返還していただくことがあります。

○子ども手当の寄付について

子ども手当の全部または一部の支給を受けずに、これをお住まいの市区町村に寄付し、子ども・子育て支援の事業に活かしてほしいという方には、簡便に寄付を行う手続きもあります。

○子ども手当の趣旨に

ご理解をお願いします

子ども手当は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもとに支給するものです。

手当を受給された方には、子ども手当の趣旨に従って、子ども手当を用いなければならぬ責務が法律上定められています。

子どもの健やかな育ちのために、子どもの将来を考え、有効に用いていただきますようお願いいたします。



【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

国民健康保険加入者の

特定健診について

近年、日本では生活習慣病が増え続け、日本人の死因の約3分の2、医療費の約3分の1を占めています。

こうした生活習慣病の増加やその医療費を抑制するため、メタボリックシンドロームに着目した「特定健診」「特定保健指導」が行われています。

特定健診の対象者は、健診時に40歳以上74歳以下の国民健康保険に加入するすべての方です。（社会保険等に加入されている方や、その被扶養者の方は、お勤めの会社にお問い合わせください。）

平成21年度に実施した特定健診結果

受診率は37・5割
メタボリックシンドロームの出現率は26・4割

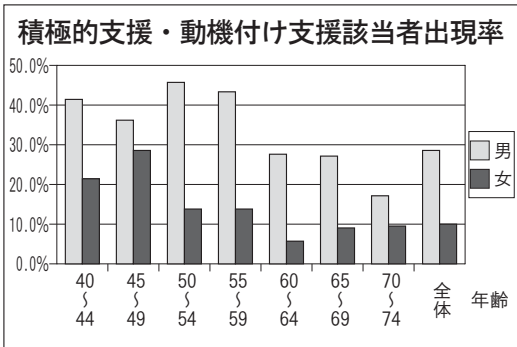
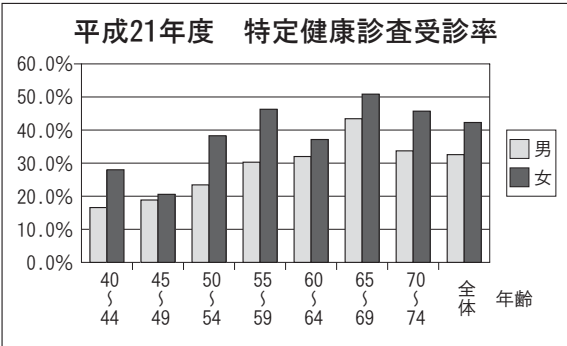
健診の受診率は、加入者2,414人のうち906人（人間ドック受診者を含む）で受診率は37・5割でした。昨年度と比較すると1・0割の増

加となりました。

しかしながら、40～60歳代の男性の受診率が低く、男女別で見ると男性の受診率が低くなっています。

また、若い年代の方ほどメタボリックシンドローム出現率が高いという結果になっています。

年に1度は特定健診を受診して、健康管理をしましょう。



特定健診を受けるメリット

①メタボリックシンドロームを早期に発見

生活習慣病は、気づかないうちに進行します。特定健診は、これらの病気の進行を早期に発見することができます。

②生活習慣改善に取り組みやすい

特定保健指導では、積極的支援・動機付け支援の方へ、個人の健康状態やライフスタイルにあわせ、栄養士や保健師からアドバイスを受け、生活習慣改善の目標を立てます。目標の中から、取り組みやすいところから始められるの

で効果的です。

③継続して健康状態を把握

健康診査の結果は、原則として町が管理します。毎年受診することにより継続して健康管理ができます。

④医療費も抑制できる

メタボリックシンドロームは心筋梗塞や脳卒中など命に関わる病気を引き起こすこともあり、手術や入院に多額な医療費がかかります。

メタボを予防・改善することは、健康だけでなく将来の医療費の削減のためにも重要です。これは、皆様のご家庭の医療費を抑えられるだけでなく、国民健康保険が負担する医療費も削減できるため、安定した運営につながります。

平成22年度特定健診はワンコイン健診！

平成22年度の特定健診は、6月中旬から始まります。対象者には受診券を送付しますので、ぜひ受診してください。今年度の特定健診では、すべての方の負担金を500円（ワンコイン）とし、心電図などの詳細な項目の負担金を免除しました。

また、新たに尿酸（痛風等の検査）とクレアチニン（慢性腎臓病等の検査）のメタボだけでない検査項目も追加しました。

さらに、土・日曜日等の実施期間も増加し、混雑解消や受診しやすい方法を取り入れています。

人間ドックの助成制度

都合により特定健診が受診できなかった方は、人間ドックの助成制度があります。

健診結果および質問票を提出することで、特定健診の代わりとすることができます。

助成を受けられる方は、国民健康保険に加入している30歳から70歳未満の方で、前年度までの国民健康保険税を完納している方です。

助成の金額は、一日ドックで15,000円、短期ドックで25,000円を限度額として自己負担分を助成します。

事前に申請が必要となりますので、国民健康保険窓口に申し出てください。

【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

棚田を支える子どもたちの活動

「棚田百笑くらぶ」 始動!

第1回「あぜ付け・あぜ塗り」

棚田サミット開催を機に、子どもたちが農作業や自然環境などを学習する「棚田百笑くらぶ」を、4月24日(土)に設立しました。

第1回目の活動として実施された「あぜ付け・あぜ塗り」体験には、会員をはじめ児童、保護者など総勢16人が参加しました。

当日は、地元の方に、種籾(たねもみ)の選別方法や、これから半年間稲の生長を支えるための「あぜ作り」の大切さを教えていただいた後、大人も子どもも、裸足で田んぼに入り、約1㍓のあぜを作りました。

くわの扱いに苦労しながら、初めて田んぼに入り、泥まみれになった子どもたちは、「バナナを踏んだみたい」「コーヒープリンみたい」など、土の感触に歓声を上げていました。



棚田百笑くらぶあぜ塗り作業

第2回「田植え」

5月16日(日)には、2回目の活動となる「田植え」を行いました。会員も増え、児童、保護者など、総勢30人の作業となりました。

今年は、天候不順のため苗の生育が遅く、小さな苗を植えるのは大変でしたが、土の感触を確かめながら丁寧に植えていきました。

保護者も、地域の方の指導を受けながら、子どもたちと一緒に並んで植えました。



棚田百笑くらぶ田植え作業

授業としての活動

松崎小学校

松崎小学校では、棚田サミットが開催される本年、石部の棚田に出かけ、各学年で設定したテーマ(生き物、環境、農業、歴史など)で学習します。

はじめての授業となる5月18日(火)には、総合学習で、稲作を学ぶ5年生2クラスの児童69人が、棚田を訪れ、赤米の苗を植えました。

5年生はこの後も、夏の草刈りや秋の収穫作業を通して稲作を学ぶことになっていきます。



スケッチをする中学生

中高一貫教育「西豆学」松崎、西伊豆町の3つの中学校生徒による総合学習「西豆を体験しよう」が5月14日(金)に両町内で実施され、棚田では、スケッチや写真撮影が行われました。今回の棚田での作品は、棚田サミットにおいて、展示が予定されています。また、松崎高等学校でも、「西豆学」の一環として、4月28日(水)に、棚田のあぜ付け作業が実施されました。棚田には、毎年1年生が、春の「あぜ付け・あぜ塗り」や、秋の「脱穀」に訪れ、棚田保全活動の大きな戦力となつていきます。



松崎高校あぜ塗り作業

今回、1年生2クラス52人が参加し、雨の降るあいにくの天気でしたが、棚田保全推進委員会関係者の指導を受け、20㍓の田んぼで作業を行いました。郷土について学びながら、子どもたちを育てる取り組みはいろいろ行われていますが、今回は、棚田サミット開催を10月に控え、棚田での活動を紹介させていただきました。子どもたちの健やかな成長のためにも、町内の皆様のご協力をこれからもよろしくお願いたします。【問合せ】企画観光課(42) 3964

松崎町生涯学習だより (社会教育事業について)

松崎町の社会教育は、「学習の生涯化」「学習の地域化」を基本理念として、住民の皆様が、自ら課題を解決し、自己を高めていく学習活動を進めていきます。学習を通じて、「豊かな自然と文化の薫る町づくり」に参加する体制を築くことを目標にしています。学習機会の充実を図るための事業をご紹介します。

お知らせ① 生涯学習教室

今年度は8種類の生涯学習教室(下記)の開設を予定しています。広報お知らせ版への掲載後に募集となりますのでご了承ください。

お知らせ② 生涯学習塾

町民の皆様が、自ら講師となり受講生を募る生涯学習塾の開設を随時受け付けております。生涯学習塾は、受講生の立場からでも開設することが可能です。教育委員会が講師探しをお手伝いします。

【問合せ】

教育委員会 (42) 3971

楽しい生け花教室

～遊び心で身近な花を～

四季折々の生け花を行います。

【講師】文化協会華道部

【日程】全3回(6月, 9月, 12月)

【募集】20人(親子での参加可)

初心者のための陶芸教室

湯のみや茶わん、お皿など陶芸の作品作りをします。

【講師】鈴木義弘 さん

【日程】全4回(7月～8月)

【募集】20人(親子での参加可)

子ども(親子)料理教室

小学生を対象とした料理教室です。親子で参加する場合も、調理は子どもが行います。

【講師】食推協委員

【日程】全1回(8月)

【募集】20人(小学生、親子対象)

デジカメ写真教室

きれいに写真を撮る『コツ』を知り、各自のテーマに合った写真を撮ります。

【講師】石田博之 さん

【日程】全5回(8月～11月)

【募集】15人

始めよう!読み聞かせ

絵本の見方、本選びのポイントなど読み聞かせについてさまざまな情報交換をします。

【講師】星野美雪 さん

【日程】全3回(9月～10月)

【募集】15人

ものづくり教室

～リサイクルして宝を作ろう～

廃材を利用して、実用的小物を作ります。

【講師】青森千枝美 さん

【日程】全3回(11月)

【募集】20人(親子での参加可)

手作り年賀状教室

版画で用いる技法を使い、手作りの年賀状を作ります。

【講師】佐藤美晃 さん

【日程】全5回(11月～12月)

【募集】15人(親子での参加可)

健康料理教室

健康に配慮した料理を紹介し、実際に調理をします。

【講師】食推協委員

【日程】全1回 1月

【募集】15人



暗沢山山頂で記念撮影

5月15日(土)に、三聖塾生40人とみどりの少年団員14人が、長者ヶ原へのハイキングを行いました。

三聖塾・みどりの少年団 合同ハイキング



団員代表による宣誓

4月29日(木・祝)に、牛原山でみどりの少年団入団式を行いました。新入団11人を加えた総勢18人で、毎月さまざまな活動を行います。

みどりの少年団入団式

日本脳炎ワクチン

接種について

○日本脳炎とは？

ウイルスを持つ蚊がヒトを刺すことよって感染します。症状が現れずに経過する（不顕性感染）場合がほとんどですが、症状が出る場合には、6〜16日間の潜伏期間の後に、数日間の高熱、頭痛、嘔吐などを発病し、引き続き急激に、光への過敏症、意識障害（意識がなくなること）、けいれん等の中枢神経系障害（脳の障害）を生じます。

このたび、国の専門家が検討した結果、第1期の標準接種期間に該当する方（平成22年度においては3歳のお子さん）に対してのみ、新しいワクチンでの予防接種を再開することとなりました。

第2期（標準として9歳のお子さん）の予防接種については、現在、使用できるワクチンがないため、再開は見送りとなっています。

○初回接種実施予定について

町では、今年度、3歳児を対象に、7月に第1期の初回接種を2回実施する予定です。

接種について

国では、従来の日本脳炎ワクチン接種後に急性散在性脳脊髄炎を発生した事例があったことから、平成17年5月から定期予防接種としての日本脳炎ワクチン接種を差し控えてきました。



予防接種法に基づく現行の定期予防接種スケジュール

○第1期（3回）

初回接種（2回）：生後6カ月以上90カ月未満（標準として3歳）
追加接種（1回）：生後6カ月以上90カ月未満
初回接種後おおむね1年後（標準として4歳）

○第2期（1回）※現在、実施していません。
9歳以上13歳未満（標準として9歳）

第1期の標準接種期間に該当し、これまでに接種機会を逃した方で、ブタの抗体保有率が高い地域や、最近、日本脳炎患者発生が多く認められている地域（東アジアや南アジア、国内では九州・四国・中国地方など）に行く予定があるなどの理由で接種を希望する場合は、健康福祉課まで6月中にご相談ください。

【問合せ】

健康福祉課（42）3966

松崎文芸

— 短歌 —

山裾も木木の枝にも程のよき

御伽の国めく白さのありて

平馬文枝

西風の吹きぬけてゆけし空洞の

やうなり今日は小春日和なり

中村貴子

春をきざすたった一つの露のたふ

ほど良き食べ方疎かならず

山本しづ子

わづかなる岩のりなれど届きたる

里のかをりを送りてやらむ

端山きち枝

絵手紙の椿は真っ赤にもえあて

励ましくるるこころの嬉し

飯野ふさ

せせらぎの音を聞きつつ溪谷を

行く名曲にいやされるごと

平野もみ子

精魂の文字泌々と思ひをり

畑を眺めて九十一才

坂倉のぶ

イベント・催し紹介

石部温泉大地曳き綱まつり

【日時】7月4日(日)

午前9時30分から

【場所】石部海岸

【内容】前日に海に仕掛けられた長さ約1,200メートルの大きな綱を地元の住民と観光客が力を合わせて曳くもので、捕った魚はその場でバーベキューにして振る舞われます。



～ まちのできごと ～



5/1～5 「田んぼをつかった花畑」無料花摘み

中耕地の「田んぼをつかった花畑」を、花摘みに無料開放しました。期間中は天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わいました。



5/10 第8回高通山ハイキングつつじまつり

見ごろを迎えた山つつじと絶景を楽しむ登山客で賑わい、イベント会場となる登山口では、トコロテンなどの地域の味が振る舞われました。



5/16 第34回岩地温泉大漁まつり

岩地海岸では、カツオの初漁を祝う「岩地温泉大漁まつり」が開催され、郷土料理のニアイナマスや刺身などが無料で振る舞われました。



5月上旬から 桜葉の収穫作業始まる

町内各所にある桜葉畑では、日本一の生産量を誇る桜葉の収穫作業が始まり、農家の方々は1枚1枚丁寧に摘み取っていました。

田んぼをつかった花畑

今年で10年目となる中耕地の「田んぼをつかった花畑」は、3月の桜の時期と5月の花狩り期間中は前年以上の来場者がありました。4月の天候不順により、前年比約2割減の67、512人となりました。

貴重な田んぼを貸してくださっている耕作者の皆様におかれましては、農閑期とはいえ、さまざまな負担がある中、ご理解、ご協力をいただいていることに對し、深く感謝申し上げます。

花畑は、花いっぱい運動の推進を町内外に広くアピールするために開始し、年を重ねるごとに、新聞やテレビ、雑誌などメディアからの取材や旅行会社のツアーが増加し、那賀川堤の桜との相乗効果により、春の誘客戦略の中心になっています。

町長室からこんにちは ⑥

今後は、誘客だけでなく、来場していただく町外の方に町の特産品をアピールする場所へと進化させていきたいと考えています。

今年、地元の有志の方が集まり、花畑周辺の田んぼを借りて、地場産品などの販売を行いました。こうした活動が増えれば、来場者と地元の方の交流もでき、さらに花畑も盛り上がりつつあるのではないかと思います。

来年の花畑では、松崎ブランドに認定された商品や地場産品をアピールする絶好の場として活用していただき、地域の産業振興に結びつくことを期待しています。

松崎町長

齋藤 文彦

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成22年4月30日現在)

()内は前月比

総人口 8,036人 (-2人)
 男 3,809人 (+3人)
 女 4,227人 (-5人)
 世帯数 3,156戸 (+2戸)
 転入 46人 転出 38人
 出生 5人 死亡 15人

町の交通事故

平成22年4月30日現在

()内は前年同月比

人身事故 1件 (-4)
 物損事故 13件 (+2)
 死者 0人 (±0)
 傷者 1人 (-4)

| 地区 | 氏名 | 年齢 | 届出人 |
|-----|-------|----|-----|
| 指川 | 菊池春夫 | 62 | まさ子 |
| 宮内 | 小林知也 | 17 | 正希 |
| 南郷 | 土屋愛枝子 | 90 | 義信 |
| 西区 | 鈴木茂樹 | 68 | 加代子 |
| 櫻田 | 平野重太郎 | 83 | 貢男 |
| 江奈3 | 菊地さと江 | 83 | 豊 |
| 八木山 | 田口きく | 82 | 桃太郎 |
| 中村 | 佐藤久夫 | 82 | ふみ子 |
| 江奈4 | 木村幸子 | 77 | 春吉 |
| 岩地 | 高橋竹雄 | 86 | ちせ |
| 石部 | 高橋のぶ子 | 83 | 和泉 |
| 北区 | 玉井猪一郎 | 86 | 直樹 |
| 峰 | 渡辺重之 | 85 | 文彦 |

戸籍だより (4月届出分)

おめでとうございます(出生)

| 地区 | 氏名 | 性別 | 保護者 |
|-----|-------|----|------|
| 伏倉 | いづき 樹 | 男 | 石田和也 |
| 八木山 | あらし 風 | 男 | 後藤英人 |
| 櫻田 | るい 衣 | 女 | 清水憲司 |
| 宮内 | みみ 羽 | 女 | 小鹿元希 |
| 明伏 | りな 奈 | 女 | 松原彰 |

おくやみ申し上げます(死亡)

| 地区 | 氏名 | 年齢 | 届出人 |
|----|-------|----|-----|
| 櫻田 | 佐藤藤治郎 | 77 | 和久 |

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

「マタニティマーク」

町では4月から、妊婦へ母子手帳を交付する時に、左図のマタニティマークの入ったキーホルダーと車用ステッカーを配布しています。

マタニティマークとは、妊産婦が交通機関などを利用する際に身につけることにより、周囲の人が妊産婦への配慮を示しやすくし、妊産婦にやさしい環境づくりを推進するものです。

妊娠初期は、外見からは妊娠していることが分かり難いですが、赤ちゃんの成長はもちろん、母体の健康を維持するためにとても大切な時期です。

このマークを付けている妊産婦を見かけたら、近くでの喫煙を控えたり、電車やバスで席を譲ったり、荷物が重くて大変そうな時などに、思いやりのある行動をお願いします。



マタニティマーク

地域交流通信

松本市安曇地区から

乗鞍岳春山バスが運行されています

安曇地区には、冬季間の積雪や凍結などによって安全に通行することが困難な国道や県道があり、これらの道路は、いずれも春まで車両の通行ができなくなります。

県道乗鞍岳線の三本滝から豊平までの間も、昨年の10月下旬から通行止めとなっており、解除されるのは7月1日の予定です。

観光バスなどが通行できるのはもう少し先になりますが、松本市や観光関係者などが連携して平成20年度から運行している春山バスは、5月1日から位ヶ原山荘(標高約2,300m)までを毎日3往復運行しています。春山バスはスキーヤーだけでなく、残雪期の雄大な乗鞍岳へ、観光や写真撮影に訪れるお客様で賑わいます。



雪の壁の間を走る「春山バス」

しかし、今年は、天候不順のため、5月中旬になっても路面の凍結があり、午前8時5分に乗鞍観光センターを出発するバスはたびたび運休になっています。除雪が進む6月初めには、肩の小屋口(標高約2,650m)まで運行距離を延長する予定となっています。高地のため天候の激変もありますが、松崎町の皆様もこの時期にしか味わえない残雪の乗鞍岳を体験してみたいかがでしょう。(安曇支所 奥原 一郎)